2019/10
研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：（公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。）
①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
②年末年始，長期休暇等が含まれる場合は，**休暇を除く提出期限の10業務日前**
③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について（通知）」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 （注：学内締切ではありません）	申請形態	助成名	実施機関 （URL・問い合わせ先）	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
～New～ 10月28日	2019年11月15日（金）12:00（正午）	Web申請	**株式会社資生堂** **第13回「資生堂 女性研究者サイエンスグラント」の公募**	資生堂 女性研究者サイエンスグラント事務局 Email:grant_jimukyoku@to.shiseido.co.jp http://www.shiseidogroup.jp/rd/doctor/grants/science/	自然科学分野（理工科学分野、生命科学分野いずれもご応募いただけます） なお、界面・コロイド化学の応募を積極的に歓迎します。	助成対象期間中に日本国内の大学・公的研究機関で、自然科学分野の研究に従事する女性研究者。 ※年齢、国籍は問わない。 ※推薦者不要。自由応募による完全公募制。 ※応募時、すでに指導的役割を担われている研究者（教授等）、大学院生・学生、企業に所属する研究者は除く 。 ※当グラントへの応募回数の制限はなし（何度でも応募可能）	100万円／1件、最大10件まで（年間総額1,000万円）	2020年6月～2021年5月の1年間
10月28日	2019年11月15日（金）消印有効	郵送	**一般財団法人　第一生命財団** **都市とくらしの分野** **2019年度研究助成の公募**	一般財団法人　第一生命財団 助成担当 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10 平河町第一生命ビル2階 TEL：03-3239-2312、FAX：03-3239-2315 mailto:dl-foundation@dream.ocn.ne.jp http://group.dai-ichi-life.co.jp/d-housing/boshu.html	わが国の住宅、都市、土地に関し、経済、社会、法律、歴史、制度、計画およびこれらの複合的視点から、住生活の改善向上をはかるための研究。 研究の対象を「外国」とすることはかまいませんが、主題はあくまでも「わが国の住生活の改善向上をはかるための研究」として下さい。	【一般研究】大学、その他の研究機関に専任または有期専任の身分で常勤にて在籍し、研究活動に従事している研究者。 【奨励研究】上記に同じ。ただし、申請時に40歳未満の若手研究者対象。 その他　いずれも次の基準を満たしてください。 1.　申請書提出時および研究実施年度を通じ上記資格が予定されること。 2.　日本に在住する研究者とし、大学院生、専攻科生などは対象としません。 3.　共同研究の場合は、代表研究者が対象者となります。 4.　本助成の既受託者は、原則としてその後2年間は対象としません。	総額1,000万円以内 【1件当りの助成額】 「一般研究」150万円以内、 「奨励研究」80万円以内	原則1年
10月28日	2019年11月15日（金）18時まで	Web申請	**公益財団法人　河川財団** **2020年度の河川基金助成事業の公募**	公益財団法人河川財団 基金事業部 藤山、益田、関根 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11番9号 住友生命日本橋小伝馬町ビル（2F） TEL：03－5847－8303 問い合わせは、下記の時間帯にお願いします。 9：15～12：00、13：00～17：30 （土曜、日曜、祝祭日を除く） https://www.kasen.or.jp/kikin/tabid290.html	●研究者・研究機関部門 【自然科学系】 ①水・物質循環、水環境 ②生態系・景観などの河川環境 ③水害・土砂災害等の軽減、土砂管理④水資源 ⑤水に関するエネルギー ⑥河川・水分野に関する気候変動適応・緩和 ⑦「川づくり」に貢献する先端技術の開発・導入 ⑧その他 【社会科学、人文科学系】 ⑨河川・水教育(カリキュラム開発等も含む） ⑩川や水に関する地域の歴史・文化・伝統 ⑪川づくり・まちづくりにおける地域との連携 ⑫水に関する法制度 ⑬治水や利水等の経済効果 ⑭その他 【文理融合型】 ⑮上記「工学、自然科学系」と「社会科学、人文科学系」の双方の視点を組み合わせることにより、新たな知見を得ることを目指した調査・研究	大学、高専、独立行政法人等の研究機関とそれに属する研究者 ※学校のクラブ活動に対しての助成も行っています。	助成区分によって異なるため、詳細は応募要項にて確認ください。	助成区分によって異なるため、詳細は応募要項にて確認ください。
10月28日	2019年11月30日（土）24:00	Web申請	**公益財団法人　池谷科学技術振興財団** **2020年度　助成金の公募**	公益財団法人　池谷科学技術振興財団 〒100-0013 東京都千代田区霞が関三丁目7番1号 TEL：03-3580-1712　FAX：03-3580-8837 E-mail: info@iketani-zaidan.or.jp https://www.iketani-zaidan.or.jp/system/?page_id=05	(1) 研究助成 先端材料及びこれに関連する科学技術 (2) 国際交流等助成（派遣） 過去に当財団の(1)の研究助成を受けた者のうち、海外でその研究成果を発表するための旅費(2013年度より助成対象者を変更） (3) 国際交流等助成（招聘） 先端材料及びこれに関連する科学技術分野において研究活動を行う研究者の招聘	(1)研究計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び助成期間満了後の報告を確実に行えることを条件とします。 (2) 機関に所属している研究者の場合は、申請にあたり所属機関長の承諾が必要です。個々の所属機関の応募者数に上限はありません。 (3) 本年度当財団の研究助成に重複して応募はできません。また、当財団の2019年度の研究助成者は2020年度の研究助成に応募できません。なお、他の申請者の共同研究者として名前が記されることは問題ありません。 (4) 先端材料及びこれに関連する科学技術分野において研究活動に従事する大学院後期課程在籍者及びポスドクは、採択時、所属機関長の承諾書（様式17）と合わせて指導教官の推薦状（様式18）提出が必要になります。ただし、研究助成のみの応募になります。 (5) 国際交流等助成(派遣)については、過去に当財団の研究助成を受けた研究者で、その成果を海外で発表する予定のある者とします。	(1) 研究助成 1件あたり 最大150万円（間接経費10%を含む） (2) 国際交流助成 1件あたり 最大50万円（間接経費10%を含む） （間接経費は10%以内とします。間接経費については応募前に各所属機関の担当者様にご確認ください。）	原則として2020年4月1日～　2021年3月31日の1年間。

2019/10 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：（公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。）
①各種財団等の定める提出期限の2週間前
②年末年始，長期休暇等が含まれる場合は，休暇を除く提出期限の10業務日前
③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について（通知）」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 （注：学内締切ではありません）	申請形態	助成名	実施機関 （URL・問い合わせ先）	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
10月28日	令和元年11月30日（土）必着	郵送 または E-mail ※助成枠によって申請方法はご確認ください	**財団法人 不二たん白質研究振興財団** **令和2年（第24期）研究助成の公募**	財団法人 不二たん白質研究振興財団 事務局 上田・河野 〒598-8540 大阪府泉佐野市住吉町一番地 TEL：072-463-1764　FAX：072-463-1756 http://www.fujifoundation.or.jp/aid/	【一般研究】 1.第一領域：大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究。第二領域：大豆以外の新奇な植物性たん白質の研究。 2.研究分野 A. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究。　B. 調理・風味・加工・物性などに関する研究。 C. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究。　D. 食文化、食行動などに関する研究 3.萌芽的研究については選考の際に配慮します。また、第一領域でのD分野への応募を奨励します。 【特定研究】 ＜大豆たん白質食品の効用＞ 人における健康の維持や病気の予防等に期待される大豆たん白質および関連成分の基礎、応用あるいは生活への活用に関する領域の研究。 【若手研究者枠】 1.第一領域：大豆たん白質および大豆関連成分に関する研究。第二領域：大豆以外の新奇な植物性たん白質の研究、の2領域。 2.研究分野 A. 遺伝・育種・成分・品質などに関する研究。 B. 調理・風味・加工・物性などに関する研究。 C. 栄養・健康、疾病予防・治療などに関する研究。 D. 食文化、食行動などに関する研究 尚、第一領域でのD分野への応募を奨励します。	【一般研究】、【特定研究】 大学およびこれに準ずる研究機関に所属する研究者とします。 【若手研究者枠】 1.助成の対象者は、大学およびこれに準ずる研究機関に所属する研究者及び大学院生とします。 2.応募の時点で満35才以下の研究者を選考の対象とします。 3.大学院生は担当教官の承諾を得たうえで応募して下さい。	【一般研究】 1件100万円 【特定研究】 1件単年度500万円 【若手研究者枠】 1件50万円	【一般研究】 令和2年4月から原則として1ヶ年 【特定研究】 令和2年4月から原則として3ヶ年 【若手研究者枠】 令和2年4月から原則として1ヶ年
10月28日	2019年12月2日（月）当日消印有効	郵送 及び E-mail	**大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構** **国立情報学研究所** **2020年度　国立情報学研究所　公募型共同研究の公募**	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 総務部企画課 社会連携推進室 公募担当 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 TEL：03-4212-2139, 2119 e-mail：kyoudou@nii.ac.jp https://www.nii.ac.jp/research/collaboration/koubo/	（1）戦略研究公募型 情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した研究テーマを選択のうえ、研究課題を自由に設定。 研究テーマについては、募集要項をご覧ください。 （2）研究企画会合公募型 下記の少なくとも一つを満たす新規研究課題を自由に設定。 ・異分野と情報学との連携 ・情報学同士の連携強化 ・情報学の難問に挑戦する新たなグランドチャレンジ （3）自由提案公募型 申請者が研究課題を自由に設定し、実施してください。	●申請者（研究代表者）の要件 ・国内の民間企業等に所属する研究者 ・国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生（ただし、社会人学生に限る） ●共同研究者の要件 ・国内の民間企業等に所属する研究者 ・国内外の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生	（1）戦略研究公募型：年間上限150万円 （2）研究企画会合公募型：年間上限80万円 （3）自由提案公募型：年間上限100万円	2020年4月1日から2021年3月31日まで
10月28日	2019年12月4日（水）24:00 締切 締切日必着	郵送	**公益財団法人　パブリックヘルスリサーチセンター** **パブリックヘルス科学研究助成金　2020年度の公募**	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター　研究助成事業係 担当：杉山、梶原 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-1-7　早稲田大学STEP23 3 階 TEL　03-5287-5070 （受付時間　平日9:00～17:00） FAX　03-5287-5072 Email：josei@phrf.jp https://www.phrf.jp/josei/oubo.html	1. ストレス科学分野 「ストレスマネジメント」 （キーワード：ライフイベント／ワークライフバランス／身体活動／対処／対人関係／コミュニケーション） 2. 生命医科学分野 「成長・発達と老化」 （キーワード：エイジング／遺伝子調節／環境応答／先制医療／炎症）	(1)ストレス科学研究、または生命医科学研究を行っている者 (2)国内の非営利の研究機関に在籍している研究者、または博士後期課程(それに準ずる課程も含む)に在籍している学生 (3)生年月日が1980年4月2日以降である者 (4)所属する部署の長等の推薦を受けている者 (5)2019年度本助成金の助成対象者でない者	1. ストレス科学分野：50万円 （最大6 件まで助成） 2. 生命医科学分野 ：100万円 （最大3 件まで助成）	2020年4月～2021年3月

2019/10 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等:（公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。）
①各種財団等の定める提出期限の2週間前
②年末年始，長期休暇等が含まれる場合は，休暇を除く提出期限の10業務日前
③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について（通知）」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 （注：学内締切ではありません）	申請形態	助成名	実施機関 （URL・問い合わせ先）	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
10月28日	2019年12月6日（金）17時00分	Web申請	大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所 2020年度　共同利用研究の公募	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部　国際研究協力課　共同利用係 〒444－8585 岡崎市明大寺町字西郷中38番地 TEL:0564-55－7133（ダイヤルイン） FAX:0564-55－7119 E-mail:r7133@orion.ac.jp https://www.nips.ac.jp/collabo/researcher_poster.html	(1) 一般共同研究:提案代表者が企画した研究課題について、複数の研究者によって行われる研究。 (2) 計画共同研究、課題名: ① 遺伝子操作モデル動物の作製と生理学的・神経科学的解析 ② マウス・ラットの代謝生理機能解析 ③先端電子顕微鏡の医学・生物学応用 ④多光子励起法を用いた細胞機能・形態の可視化解析 ⑤ウィルスベクターの作製・供与、および霊長類への遺伝子導入実験 ⑥生体超分子複合体の精製と質量分析法による同定 ⑦膜機能タンパク質ダイナミクスの解析 (3) 研究会:新分野の創成と新技術の創出を目指す比較的小人数（100名程度以内）の研究討論集会で、メンバーのうち少なくとも1名は生理学研究所の教授又は准教授の参加が必要です。 (4) 国際研究集会（NIPS International Workshop）:海外の研究者を数名招聘して，英語による研究集会、「国際研究集会（NIPS International Workshop）」を開催。 (5) 生体機能イメージング共同利用実験:1. 磁気共鳴装置(MRI)、2 生体磁気計測装置 (MEG) ※詳細は応募要項を確認ください。	大学及び国・公立研究所等の研究機関の研究者又は所長がこれと同等の研究能力を有すると認める者。	助成区分によって異なるため、詳細は応募要項にて確認ください。	2020年4月～2021年3月の期間
10月28日	2019年11月1日（金）9:00 から 2019年12月9日（月）17:00まで	Web申請	大学共同利用機関法人自然科学研究機構基礎生物学研究所 2020年度基礎生物学研究所共同利用研究の公募	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部 国際研究協力課 共同利用係 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 電話: (0564) 55-7133 (ダイヤルイン) Ee-mail: r7133@orion.ac.jp http://www.nibb.ac.jp/collabo/invite/2020.html	(1)　重点共同利用研究　 ※1 (2)　モデル生物・技術開発共同利用研究　 ※1 (3)　個別共同利用研究 (4)　統合ゲノミクス共同利用研究 (5)　統合イメージング共同利用研究 (6)　大型スペクトログラフ共同利用実験 (7)　生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究　※1 (8)　研究会 (9)　トレーニングコース ※1.受付期間について (1)重点共同利用研究、(2)モデル生物・技術開発共同利用研究、(7)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を除く公募事項は、2020年4月1日から10月末日まで申請を随時受け付けますが、審査期間として概ね1カ月程度を要しますので、ご了承願います。	(1)大学及び公的研究機関に所属する常勤の研究者 (2)大学及び公的研究機関に所属する非常勤の研究者のうち、以下の①、②のいずれかに該当する者。 ①e-Radに「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている研究者。 ②研究活動を行うことを職務として大学又は公的研究機関に所属し、実際に研究活動に従事している研究者（大学院生は除く）。 (3)基礎生物学研究所長が十分な研究能力を有すると認めた者 また、分担者として、(1)から(3)に該当する研究者に加えて、大学院生、学部学生、技術職員等も参加することが可能です。	対象事業によって異なるため、公募要項にて確認ください。	対象事業によって異なるため、公募要項にて確認ください。
10月28日	2019年12月9日（月）締切厳守	Web申請	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 2020年度国立遺伝学研究所　共同研究・研究会「NIG-JOINT」の公募	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 管理部総務企画課研究推進係 〒411-8540 三島市谷田1111番地 電話: 055 (981) 6728(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ) E-mail: kyodo-mail@nig.ac.jp https://www.nig.ac.jp/nig/ja/research-infrastructure-collaboration/nig-collaboration-grant	(1)「共同研究」 所外の研究者からの申込みに基づき、遺伝研内外の研究者数名により、特定の研究課題について共同して行う研究。次の3種類に分けて毎年度募集を行っています。 ①「共同研究A」: 国内及び国外の研究機関等に所属する研究者が対象。 ②「共同研究B」: 国内及び国外の研究機関等に所属する研究者が対象。 ③「国際共同研究」: 国外の研究機関等に所属する研究者が対象。 (2)「研究会」 所内外の研究者からの申込みに基づき、遺伝研内外の比較的少人数で実施する研究集会です。	国内の大学、大学共同利用機関、独立行政法人の研究機関等に所属する研究者、又は国外の研究機関等に所属する研究者とします。なお、大学院生は研究代表(申請)者にはなれませんが、共同研究者に含めることができます。	(1)「共同研究」 ①「共同研究A」: 1件あたり20万円を上限 ②「共同研究B」: 1件あたり、旅費と研究費の合計で100万円を上限とする。 ③「国際共同研究」: 1件あたり共同研究(A)の上限(20万円)を超える申請額で50万円を上限とする。 (2)「研究会」:1件あたり50万円を上限とします。	(1)「共同研究」 2020年4月1日から2021年3月31日。 (2)「研究会」 開催は、2020年4月1日から2021年3月31日までの期間内。

2019/10 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：（公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。）
①各種財団等の定める提出期限の2週間前
②年末年始，長期休暇等が含まれる場合は，休暇を除く提出期限の10業務日前
③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について（通知）」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 （注：学内締切ではありません）	申請形態	助成名	実施機関 （URL・問い合わせ先）	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
10月28日	2019年11月1日（金）～ 2019年12月10日（火）（財団必着	郵送	公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 2020年度研究助成募集の公募	公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団 〒106 0032 東京都港区六本木 7 15 14 塩業ビル 3 階 Tel: 03-3497- 5711 https ://www.saltscience.or.jp	1）一般公募研究 助成期間： 理工学、医学及び食品科学の3分野で募集します。 ・理工学分野：製塩プロセスの進歩・革新につながる研究 ・医学分野：食塩を中心とした塩類の生理作用、健康に及ぼす影響に関する研究 ・食品科学分野：食品の加工・調理・保存及び食品栄養における食塩を中心とした塩類の役割に関する研究 2）プロジェクト研究 食品科学分野で募集します。 課題名を「風味に着目した塩味受容メカニズムの解明と食品加工における塩の有効利用に関する研究 」とします。	・日本国内の大学、公的研究機関等で研究に携わる人（学生・研究生等を除きます） 若手研究者の積極的な応募を期待します。 ・財団からの助成回数に制限はありません。 ・一般公募研究の助成を2017 年度から 3 年間連続して受けた方は、一般公募研究への応募はできませ ん。	1）一般公募研究 理工学、医学及び食品科学の3分野合計で 50 件 程度。1件あたり の研究助成金額 は 120 万円 以下。 2)プロジェクト研究 食品科学分野：5件。1 件 当たりの助成金額は 100 万円 200 万円／年。	1）一般公募研究 2020 年4 月1 日から 2021年3月31 日までの1 年間 2）プロジェクト研究 2020 年4 月1 日から 2023年3 月31 日までの3年間
10月28日	2019年11月1日（金）10時から 2019年12月10日（火）17時まで	Web申請	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 2020年度自然科学研究機構分野融合型共同研究事業の共同研究の公募	大学共同利用機関法人自然科学研究機構　事務局企画連携課研究支援係 〒105-0001　東京都港区虎ノ門4-3-13　ヒューリック神谷町ビル2階 Tel：03-5425-1318、FAX：03-5425-2049 E-mail：nins-jr@nins.jp https://www.nins.jp/site/activity/1650.html	国内の研究機関に所属する研究者等が、NINSに所属する職員と協力し推進する以下の取組を公募します。 (1) 分野融合型の共同研究 (2) 分野融合型共同研究の準備のためのワークショップ等	国内の大学及び公的研究機関に所属する研究者、または自然科学研究機構長がそれと同等の研究能力を有すると認める者を対象とします。（共同研究者においては、この限りではありません。）	(1) 分野融合型の共同研究年間: 年間500万円以内 (2) 分野融合型共同研究の準備のためのワークショップ等: 年間100万円以内	2020年度から1～2年間
10月8日	2019年11月末日まで（期日厳守・当日消印有効）	郵送	公益財団法人　SBS鎌田財団 2019年度研究助成の公募	公益財団法人　SBS鎌田財団 事務局　　池上・佐川・新津 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー11階 TEL:03-3829-2367 Email:kamatazaidan@sbs-group.co.jp https://www.sbs-kamatazaidan.or.jp/skzd/furtherance/	物流の振興・発展に資する①学術研究②研究集会、シンポジウム、セミナー等の開催を対象。	大学・大学院・その他研究機関に在籍し、物流分野に係る研究活動に従事する個人または団体を対象とします。	総額300万円、一件当たり限度額を50万円とします。	2020年4月～2021年3月までの1年間
10月8日	2019年11月30日（土）	郵送	公益財団法人日本農業研究所 令和2年度人文・社会科学系若手研究者助成事業の公募	公益財団法人日本農業研究所 人文・社会科学系若手研究者助成事業係 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29 TEL:03-3262-6351 FAX:03-3262-6355 http://www.nohken.or.jp/	農業や食料、農村をめぐる問題について、人文・社会科学的な視点に立ち解明しようとする研究が対象であり、特定の研究課題は設定しません。選考にあたっては、実態調査に重点を置く研究であることを重視します。	農業や食料、農村に関する研究を行う方で、令和2年4月1日現在22歳以上35歳未満の方を対象とします。研究機関への在籍の有無は問いません。 大学院生は、所属する大学院の指導教員による推薦書を添付して下さい。	35万円以内	令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間
10月8日	募集期間：通年 （ただし、令和2年度選考に向けたご応募の締め切りは令和元年11月29日（金）正午）	Email	国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業　総括実施型研究(ERATO)　テーマ候補・研究統括候補の募集 （※研究助成のための提案募集ではありません）	国立研究開発法人科学技術振興機構 研究プロジェクト推進部　加藤・石原 〒102-0076　東京都千代田区五番町7　K's五番町 TEL:03-3512-3528 E-mail:erato-suisen@jst.go.jp https://www.jst.go.jp/erato/application/index.html	●「テーマ候補」の情報から知りたいこと ・ERATO の推進で、サイエンスとしての大きなインパクトが見込める成果とは何か ・ERATO の推進を端緒として、将来実現することが期待される新たな社会的・経済的価値は何か ・上記2 項の目的実現のアプローチとして、どのような分野融合が図られるのか ●「研究総括候補」の情報から知りたいこと ・ERATO の推進を想定しうる独創性や優位性のあるアイデアや研究哲学を有しているか ・研究プロジェクトを指揮するに相応しい指導力、若手研究者を触発し得る人物であるか ・分野融合のアプローチを進める上で、どのような分野の異なる研究者と協力できるか	・「自薦」「他薦」は不問。 ・個人。ただし、大学・公的研究機関・民間企業の研究開発部門等で研究開発経験のある方。なお、研究開発経験のない方であっても、研究開発マネジメント・支援業務経験のある方(URA等）は対象となります。 ・応募者1人あたりの応募件数に上限はありません。	1 プロジェクトあたりの予算規模は、総額上限12 億円(直接経費、通期；通常環境整備期間半年、プロジェクト実施期間5 年の計5 年半以内)です。	5年半以内

2019/10 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：（公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。）
①各種財団等の定める提出期限の2週間前
②年末年始，長期休暇等が含まれる場合は，休暇を除く提出期限の10業務日前
③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について（通知）」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 （注：学内締切ではありません）	申請形態	助成名	実施機関 （URL・問い合わせ先）	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
10月8日	2019年11月中旬予定	－	国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED） 「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)」において、令和2年度感染症分野の公募（公募予告） ※対象分野、研究期間、予算規模と内訳については、昨年度公募時の情報です。	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 国際事業部　国際連携研究課 SATREPS　担当：朴、大橋 〒100-0004　東京都千代田区大手町1丁目7番1号読売ビル23階TEL: 03-6870-2216 E-mail: amed-satreps@amed.go.jp https://www.amed.go.jp/koubo/03/01/0301A_00049.html	感染症分野「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」	※予告情報につき記載がないため、詳細については、公式サイトにてご確認ください。	1課題あたり1億円程度／年（AMEDとJICA予算の総和）【内訳】AMED：委託研究経費3,200万円程度／年、JICA：ODA技術協力経費6,000万円程度／年	3～5年（暫定期間後） ※暫定期間とはR/D及びMOUが締結されて正式に共同研究を開始するまでの期間です。
9月27日	2019年12月20日（金）（消印有効）	郵便	公益財団法人 立石科学技術振興財団 国際交流助成（前期）の公募	公益財団法人 立石科学技術振興財団 事務局 〒600-8234 京都市下京区油小路通塩小路下る南不動堂町１１番地 TEL：(075)365-4771，FAX：(075)365-3697 E-mail: info@tateisi-f.org https://www.tateisi-f.org/?page_id=514	エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究活動を行なう研究者の海外派遣、特に国際会議での論文発表及び短期在外研究のための海外派遣に対し、応募者本人に助成します。「人間と機械の調和を促進する」とは、人間重視の視点に立った科学技術の健全な発展に寄与したい、という願いからきているものです。上記の範囲で、科学技術を人間にとって最適なものとするための、若手研究者による萌芽的な基礎研究活動の一環としての国際交流を歓迎します。ことに、渡航経験の少ない若手からの応募を期待します。	① 日本国に居住する40歳以下（申請日の満年齢）の研究者とし、国籍・所属機関を問いません。研究者とは、助成対象期間に研究機関に所属し研究に従事する者、もしくは博士後期課程（または相当）に在学する者。 ② 同一または重複内容で、現在公的機関からの補助金や他の財団等から既に助成を受けているか、または受ける予定になっている個人またはグループのメンバーはご遠慮下さい。	国際会議発表 1件400千円(注1)以下 合計10件程度 短期在外研究 1件700千円(注1)以下 注1：この金額は直接経費（研究費）の上限です。	助成対象期間：2020年4月1日～9月30日（日本出発日）
2019/8/2	2019年11月11日（月）正午（日本時間）	Web申請（e-Rad）	国立研究開発法人科学技術振興機構 「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」の令和2年度研究課題の公募	国立研究開発法人　科学技術振興機構 ●環境・エネルギー/ 生物資源/防災分野 JST 国際部SATREPSグループ 担当：猿渡、齋藤 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 東京本部別館　K's五番町ビル E-mail: global@jst.go.jp Tel: 03-5214-8085 https://www.jst.go.jp/global/koubo.html	環境・エネルギー分野（2研究領域）、生物資源分野（1研究領域）、防災分野（1研究領域）となります。	研究代表者（応募者） ・ 国内の研究機関6に所属し、当該国際共同研究の研究代表者としての責務を果たし、最初から最後まで国際共同研究に従事できることが研究代表者（応募者）の要件です。 ・ 研究代表者自身が国内及び相手国側の研究者等との調整を踏まえ、研究提案書を作成してください。 研究参加者および研究参画機関 ・ 日本側の研究参加者は、日本国内の研究機関に所属していることが要件です。 ・ 日本側研究機関と相手国側研究機関の両方にポストを有していたとしても、両方のメンバーリストに名を連ねることはできず、どちらかに決めなければなりません。 ・ JST と委託研究契約を結ぶ研究機関に所属していない研究者を参加させる場合、適切な書面を取り交わすなどの措置が必要です。 ・ 日本国でも相手国でもない第三国の機関とは共同研究はできません。	年間1課題あたり1億円程度 【内訳】 JST：委託研究経費 3,500万円程度/年（5年間で1.75億円以内） 【間接経費を含む】 JICA：ODA技術協力経費6,000万円程度/年（5年間で3億円以内）	3～5年
2019/5/22	現在募集中 ただし、提携が決まった場合などは予告なく、募集を終了させていただきます。	web申請（応募フォームより）	大日本住友製薬 ①研究開発シーズ募集型（随時募集）	大日本住友製薬株式会社 〒104-8356 東京都中央区京橋1-13-1　TEL:080-4069-2204 https://www.ds-pharma.co.jp/prism/seeds.html	本取組は、皆さまが研究開発を進めている医薬候補品を弊社と提携（ライセンシングや共同研究開発など）することによって、革新的な医薬品創出の早期実現を目指すプログラムです。	募集要項を満たす医薬候補品を保有されている方。所属（大学・研究機関・企業など）は問いません。	記載無し	記載無し

2019/10 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：（公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。）
①各種財団等の定める提出期限の2週間前
②年末年始，長期休暇等が含まれる場合は，休暇を除く提出期限の10業務日前
③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について（通知）」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間（注：学内締切ではありません）	申請形態	助成名	実施機関（URL・問い合わせ先）	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/5/7	国際会議の開催月により、年 4 回の受付を行う。 申請区分/国際会議開催月/申請書受付期間/採否通知 冬季/ 1 月～3 月 2019年8月21日（水）～2019年11月20日（水） 12 月中旬 春季/ 4 月～6 月 2019年11月21日（木）～2020年2月20日（木） 3 月上旬	電子申請web及び書類申請郵送	公益財団法人内藤記念科学振興財団 ①内藤記念講演助成金	公益財団法人 内藤記念科学振興財団 〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 南江堂ビル 8 階 TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 E-mail joseikin@naito-f.or.jp URL https://www.naito-f.or.jp/	自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議の開催に対し、費用を補助するものである。 推薦件数：当財団の理事・監事及び評議員の場合1 推薦者につき年間2 件 当財団の指定した学会の代表者の場合1 推薦者につき年間1 件	大学、研究機関に所属する者が主催する自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム、講演会)の開催責任者（主催者）。 国際会議とは、参加者総数が 50 名以上で、かつ参加国が日本を含む 2 カ国以上を占める会議をいう。 なお、下記の集会の開催責任者は対象外とする。 ①国内で開催される学術集会の定例的な年会や季会 ②当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一のシンポジウム、講演会 当財団の理事・監事・評議員及び選考委員による申請は原則行わない。 ただし、助成金を個人のために使用しないことが明白な場合にはこの限りではない。	上限は 1 件 50 万円	－